

空穂

と

源氏物語

— 古典文学の世界

令和6年9月6日（金）
～ 10月27日（日）

休館日 月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）

開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）

観覧料 大人310円（200円） 中学生以下無料

※○内は20名以上の団体料金

※松本市在住の70歳以上の方、

障害者手帳をご持参の方及び介助者1名まで無料

会場 窪田空穂記念館 会議室



空穂も
愛した物語

源氏物語

と

空穂

王朝文学の金字塔である源氏物語は、日本国内のみならず世界中で翻訳され親しまれている、我が国を代表する古典文学の一つです。窪田空穂は早稲田の学生であつた若き日から源氏物語に親しみ、長い文筆生活の中で源氏物語の現代語訳などの研究に取り組むなど、最晩年まで関心を向けていました。今回は空穂の源氏物語の著作や自筆原稿を通じて、『空穂の源氏物語』をご紹介します。

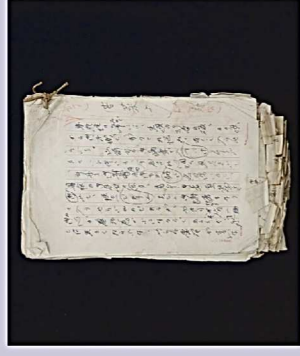
同時開催として、近年当館に収蔵した資料を公開する「最新収蔵資料公開展」を開催いたします。

表面

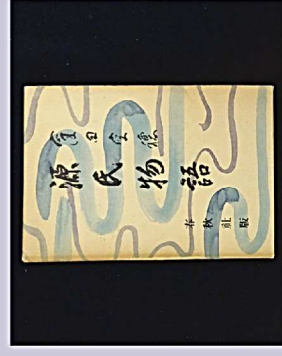
窪田空穂「現代語訳 源氏物語」（完訳本）表紙絵「雨夜の品定め」改造社刊（昭和22年）

裏面

窪田空穂「現代語訳 源氏物語」（完訳本）裏表紙絵「石山寺と琵琶湖の夜景」改造社刊（昭和22年）



自筆原稿「若葉上」
（昭和17～18年頃）



源氏物語 春秋社刊
（昭和31年）

くぼたうつぼ

窪田空穂記念館

〒390-1242 長野県松本市大字和田 1715-1
TEL 0263-48-3440 FAX 0263-48-4287
URL <http://www.matsu-haku.com>